

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 08-275856

(43)Date of publication of application : 22.10.1996

(51)Int.Cl.

A47G 9/02

(21)Application number : 07-081193

(71)Applicant : NICHIRO KEGAWA KK
NATL LIFE KK

(22)Date of filing : 06.04.1995

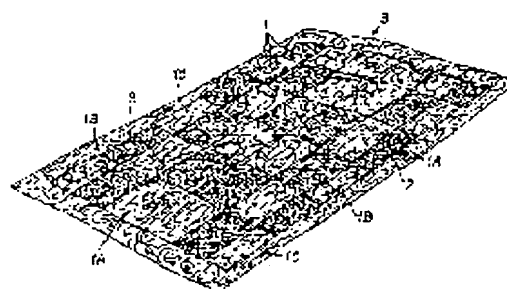
(72)Inventor : YONEYAMA TAKESHI
SHIMIZU KAZUNARI

(54) QUILT

(57)Abstract:

PURPOSE: To provide a quilt made of leather which is reduced in the weight of the raw material leather and is improved in air permeability and resilience.

CONSTITUTION: This quilt consisting of both front and rear leather 19 formed by sewing cut pieces 1A, 1B formed by cutting relatively soft and light leather of ram, Astrakhan, mink etc., to each other. A part 1B of the cut leather 1 is subjected to punching 2, by which the quilt having the improved air permeability is formed.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 12.05.1998

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number] 3032446

[Date of registration] 10.02.2000

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

BEST AVAILABLE COPY

[Date of requesting appeal against examiner's
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平8-275856

(43) 公開日 平成8年(1996)10月22日

(51) Int. Cl.⁵

A 4 7 G 9/02

識別記号

片内整理番号

P I

A 4 7 G 9/02

技術表示箇所

Z

審査請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 6 頁)

(21) 出願番号 特願平7-81193

(22) 出願日 平成7年(1995)4月6日

(71) 出願人 391032015

ニチロ毛皮株式会社

東京都中央区八丁堀1丁目2番4号

(71) 出願人 595050455

ナショナルライフ株式会社

大分県大分市大字宮崎字延命1387番地の1

(72) 発明者 米山 武

東京都町田市金森1136番地

(72) 発明者 清水 一成

長野県小県郡丸子町大字腰越1077番地の5

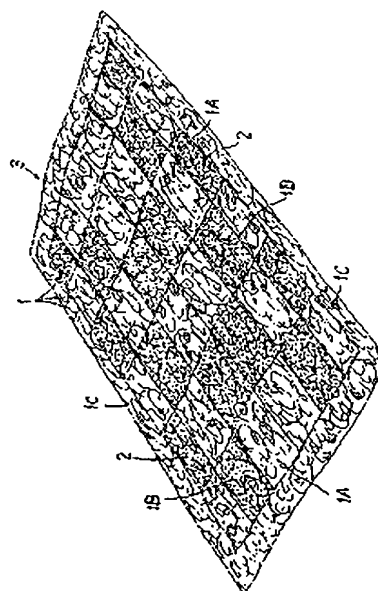
(74) 代理人 弁理士 杉村 暁秀 (外5名)

(54) 【発明の名称】 掛け布団

(57) 【要約】

【目的】 素材となる毛皮の重畳を軽減すると共に、通気性および柔軟性を向上した毛皮製の掛け布団を提供すること。

【構成】 ラム、アストラカン、ミンク等の比較的に柔らかく軽い毛皮1を裁断したもの1A、1Bを縫い合わせて表裏共毛皮よりなる肌掛け布団を形成し、前記裁断した毛皮1の一部1Bにパンチング2を施して通気性をよくした掛け布団を構成する。



(2)

特開平 8-275856

1

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 ラム、アストラカン、ミンク等の比較的柔らかく軽い毛皮を裁断したものを縫い合わせて表裏共毛皮よりなる肌掛け布団を形成し、前記裁断した毛皮の一部にパンチングを施して通気性をよくしたことを特徴とする掛け布団。

【請求項 2】 請求項 1 記載の掛け布団の裏面の四周に額縁の内側縁を形成するようにファスナーを取り付け、長毛のムートンにパンチングを施して帯状に裁断したものと、短毛ムートンを帯状に裁断したものを交互に縫着したものを前記掛け布団のファスナーによって着脱自在に取り付けるようにしたことを特徴とする掛け布団。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、ラム、アストラカン、ミンク等の比較的柔らかく軽い毛皮を使用した掛け布団に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 ムートン等の毛皮を寝具として利用し始めたのは、中世の初期からであり、北欧などの寒冷地において特に多く利用されていた。わが国においては、近年になって毛皮の寝具としての利用が散見されるが、未だ広く利用される状況には至っていない。

【0003】 実公昭 62-36469 号はその一例を示すもので、これは、所定幅の帯状に切断された複数のムートンを、該ムートン間に可換性を有する所定幅のテープ状部材を交互にあるいは適宜介在させて構成し、所要面積の掛け布団に形成したことを特徴とするムートン製掛け布団である。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】 ムートンをそのままの状態では寝具として利用する観点から検討すると、羊毛自体は、柔軟で軽量である上に、保温性および吸放湿性が良好であるから、寝具としての物理的特性に優れている。これに対して一般的な毛皮は、重量が大で、かつ柔軟性が乏しいため、掛け布団にした場合は重く、身体にフィットしにくいというドレープ性に欠けるという欠点がある。そして比較的温暖であるわが国で使用する、就寝中の布団内の湿度が高くなりすぎ、通気性が悪いためむれを生じ、その結果、人体に有害な各種雑菌の繁殖源になりかねないなどという問題点があった。

【0005】 前記した実公昭 62-36469 号のムートン製掛け布団は、ムートンを帯状に切断したものを布製テープなどと繋ぎ合わせて掛け布団としたものであるから、皮と布を縫合するためテープは相当に丈夫なものである使用しなければならないが、丈夫な布製テープは通気性にかけると共に、縫合に手間がかかるという問題点がある。

【0006】

【課題を解決するための手段】 上記の問題点を解決する

2

ため本発明においては、ラム、アストラカン、ミンク等の比較的柔らかく軽い毛皮を裁断したものを縫い合わせて表裏共毛皮よりなる肌掛け布団を形成し、前記裁断した毛皮の一部にパンチングを施して通気性をよくした掛け布団を構成する。

【0007】 また前記した第 1 発明の掛け布団の裏面の四周に額縁の内側縁を形成するようにファスナーを取り付け、長毛のムートンにパンチングを施して帯状に裁断したものと、短毛ムートンを帯状に裁断したものを交互に縫着したものを前記掛け布団のファスナーによって着脱自在に取り付けるようにしてもよい。

【0008】

【作用】 上述のように本発明においては、ラム、アストラカン、ミンク等の比較的柔らかく軽い毛皮を裁断したものを縫い合わせて表裏共毛皮よりなる肌掛け布団を形成し、前記裁断した毛皮の一部にパンチングを施して通気性をよくしたから、この掛け布団を使用すれば、就寝時における相対湿度が就寝後 30 分以内に 45～55% の範囲に入りむれ感もなく快適睡眠領域に短時間に到達する。

【0009】 また本発明の掛け布団は、ラム、アストラカン、ミンク等の比較的柔らかく軽い毛皮を使用し、その裁断した毛皮の一部にパンチングを施したから、掛け布団として軽量で柔軟性に富んでいて身体によくフィットする。

【0010】 また第 2 発明においては、第 1 発明の掛け布団の裏面の四周に額縁の内側縁を形成するようにファスナーを取り付け、長毛のムートンにパンチングを施して帯状に裁断したものと、短毛ムートンを帯状に裁断したものを交互に縫着したものを前記掛け布団のファスナーによって着脱自在に取り付けるようにしたから、第 1 発明の掛け布団だけでは保温性が不足する場合は、両者を結合して使用することができるし、またムートン製のものは、そのまま単独で使用することもできるから、本発明の掛け布団は利用範囲が広いという特長がある。

【0011】

【実施例】 以下、図面について本発明の実施例を説明する。図 1 は本発明の掛け布団の表面を示す斜視図であり、図 2 はその表面の平面図、図 3 は同裏面図、図 4 は図 3 の A-A 線による部分拡大断面図である。

【0012】 本実施例においては、ラム、アストラカン、ミンク等の比較的柔らかく軽い毛皮 1 を方形に裁断したものを 1A、1B を縫い合わせて布団の表裏面を形成すると共に、その周囲に同じ毛皮 1 によって額縁 1C を形成して、表裏共毛皮よりなる肌掛け布団を形成し、前記裁断した毛皮 1 の一部 1B (図 2、3 の斜縁部分) にパンチング 2 を施して通気性をよくした掛け布団 3 を形成する。

【0013】 また、前記した掛け布団 3 の裏面の四周に、図 3 に示すように、額縁の内側縁を形成するように

(3)

特開平8-275856

3

ファスナー4（図4参照）を取り付ける。4aはファスナー4の上面を覆うように、牛皮等によって形成したカバーである。

【0014】また図5、6に示すように、長毛5aを有するムートンの皮革部5bにパンチング6を施して帯状に裁断したもの7と、図7に示すように、短毛8aを有すると共に、皮革部8bはそのままのムートンを帯状に裁断したもの9を図8に示すように、交互に縫着し、その裏側に布地10によってカバーすると共に、その四周にファスナー4を取り付けたもの11を図9、10に示すように、前記掛け布団3のファスナー4によって着脱自在に取り付けるようにする。

【0015】次に、本実施例の掛け布団3に使用した毛皮1の特殊樹脂加工の一例を説明する。毛皮1の素材と*

*したベビーラムは、引き裂き強度、クリーニング堅牢度、日光堅牢度が小さい為、次の処理を行った。水80%、ウレタン樹脂10%、アクリル樹脂10%の樹脂溶液をベビーラムの25dm²に対して3gスプレー塗布して、80℃で約5分間乾燥後、ロールアイロンを用いて120℃でアイロンかけを行った。その後、前記した樹脂溶液2gを25dm²のベビーラムに対して再度スプレーして乾燥を2度繰り返した。つぎに、水70%、ウレタン樹脂30%の溶液2gをベビーラム25dm²にスプレーして乾燥後、ロールアイロンを用いて100℃でアイロンをかけた。結果は次表の通りとなり布団素材として利用可能となった。

【0016】

【表1】

比較項目	日光堅牢度	クリーニング堅牢度	摩擦堅牢度	引き裂き堅牢度
従来のベビーラム	3	5	2	1.2kgf
樹脂加工したベビーラム	5	5	5	1.4kgf

【0017】つぎに上述のように構成した掛け布団の作用効果について説明する。就寝時、寝具によって身体周囲に形成される微気候的な状態を寝床気候と言い、この寝床気候は寝床内の気温、湿度、気流の三要素によって形成されるが、そのほか掛け布団の重畳も物理的性状として重要である。

【0018】快適な寝床気候条件として脳波的にも安定した睡眠経過が得られやすい寝床気候は温度が32～34℃で、湿度は45～50%である。就寝時温度は従来のムートン製掛け布団でも本発明の掛け布団でも図11に示す寝床内のP点では図12に示す特性線D（本発明）、E（従来）のように、ほぼ一定であるが、湿度は図13に示すように、従来の掛け布団では特性線Eのように最低55%であり、本発明の掛け布団では、特性線Dで示すように、就寝後1時間以内に45～55%の範囲に入った。また就寝中の水蒸気圧は、本発明の掛け布団使用時が図14の特性線Dのようであり、従来のムートン製掛け布団使用時が図15の特性線Eのようであった。なおこの試験時の室温は20±1℃、相対湿度は65%であった。

【0019】また、試験に使用した従来のムートン製掛け布団の重畳7.8kgに対して、本発明の掛け布団の重畳は5.8kgであり、就寝時間7時間中の体動回数（寝返り回数）が従来のものが73回であったのに対して、本発明のものは28回であった。これは本発明の掛け布団を使用すれば、就寝後すみやかに快適睡眠領域に入ることを示している。

【0020】

【発明の効果】上述のように本発明においては、ラム、アストラカン、ミンク等の比較的柔らかく軽い毛皮1を裁断したものを縫い合わせて表裏共毛皮よりなる肌掛け

20 布団を形成し、前記裁断した毛皮1A、1Bの一部1Bにパンチング2を施して通気性をよくしたから、この掛け布団3を使用すれば、就寝時における相対湿度が就寝後30分以内に45～55%の範囲に入りむね感もなく快適睡眠領域に短時間に到達するという効果が得られる。

【0021】また本発明の掛け布団3は、ラム、アストラカン、ミンク等の比較的柔らかく軽い毛皮1を使用し、その裁断した毛皮の一部1Bにパンチング2を施したから、掛け布団として軽量で柔軟性に富んでいて身体によくフィットするという効果が得られる。

【0022】また第2発明においては、第1発明の掛け布団3の裏面の四周に額縁の内側縁を形成するようにファスナー4を取り付け、長毛5aのムートンにパンチング6を施して帯状に裁断したもの7と、短毛ムートンを帯状に裁断したもの9を交互に縫着したもの11を前記掛け布団3のファスナー4によって着脱自在に取り付けるようにしたから、第1発明の掛け布団3だけでは保温性が不足する場合は、両者を結合して使用することができ、またムートン製のもの11は、そのまま単独で使用することもできるから、本発明の掛け布団は利用範囲が広いという特長がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明掛け布団の表面を示す斜視図である。

【図2】図1の表面の平面図である。

【図3】図2の裏面図である。

【図4】図3のA-A線による部分拡大断面図である。

【図5】長毛のムートンを帯状に裁断したものの斜視図である。

【図6】その裏側の斜視図である。

【図7】短毛のムートンを帯状に裁断したものの裏側を

(4)

特開平 8-275856

5

5

示す斜視図である。

【図 8】(a) は、ムートンを帯状に裁断したものを交互に縫着したものの平面図であり、(b) は、(a) の B-B 断面図である。

【図 9】(a) は、ムートン製の毛皮を付け加えた掛け布団の平面図であり、(b) は、(a) の C-C 断面図である。

【図 10】図 9 の掛け布団を折り曲げた状態の斜視図である。

【図 11】就寝時の測定点を示す断面図である。

【図 12】就寝時の寝床内の温度変化を示す特性図である。

【図 13】就寝時の寝床内の相対湿度を示す特性図である。

【図 14】本発明の掛け布団を使用した場合の就寝時における寝床内の水蒸気圧を示す特性図である。

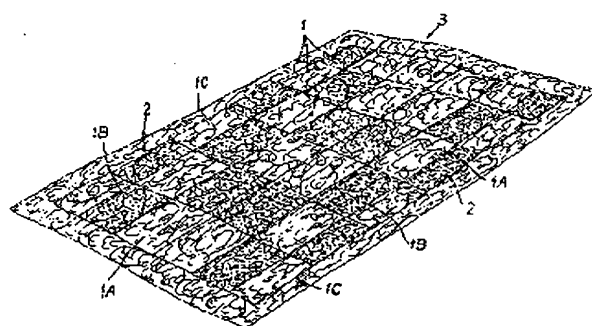
【図 15】従来のムートン製掛け布団を使用した場合の就寝時における寝床内の水蒸気圧を示す特性図である。

【符号の説明】

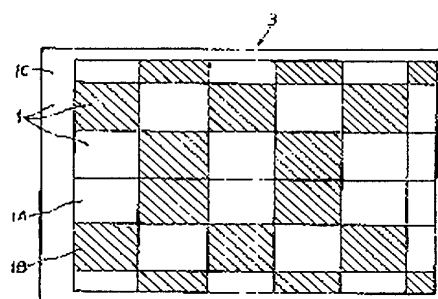
- * 1 比較的柔らかく軽い毛皮
 1 A、1 B 方形に裁断したもの
 1 C 額縁
 2 バンチング
 3 掛け布団
 4 ファスナー
 4 a カバー
 5 a 長毛
 5 b 皮革部
 10 6 バンチング
 7 帯状に裁断したもの
 8 a 短毛
 8 b 皮革部
 9 帯状に裁断したもの
 10 布地
 11 帯状に裁断したものを縫着して裏側を布地によってカバーし、四周にファスナーを取り付けたもの（ムートン製のもの）

*

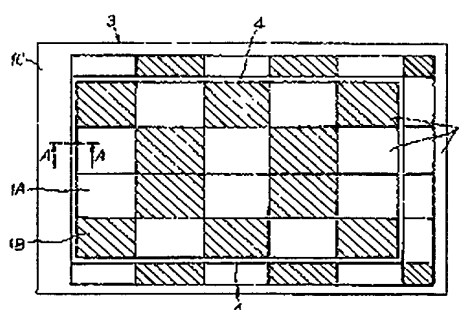
【図 1】



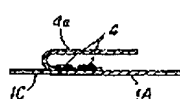
【図 2】



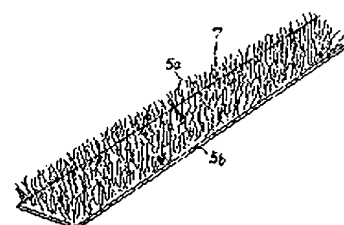
【図 3】



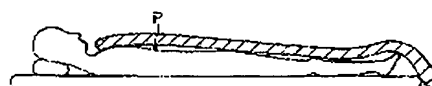
【図 4】



【図 5】



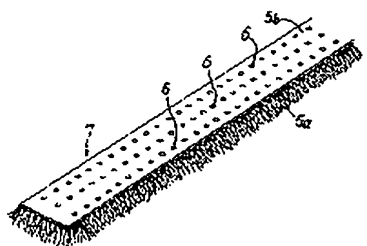
【図 11】



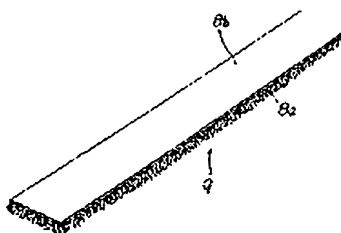
(5)

特開平 8-275856

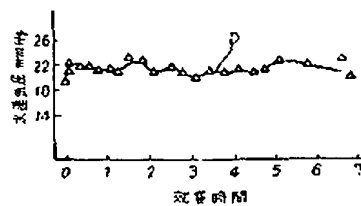
【図6】



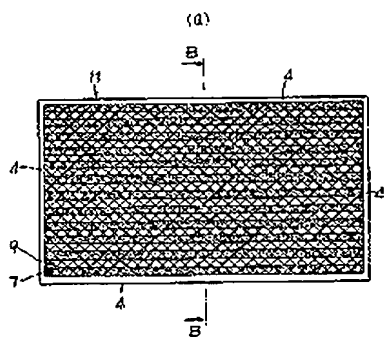
【図7】



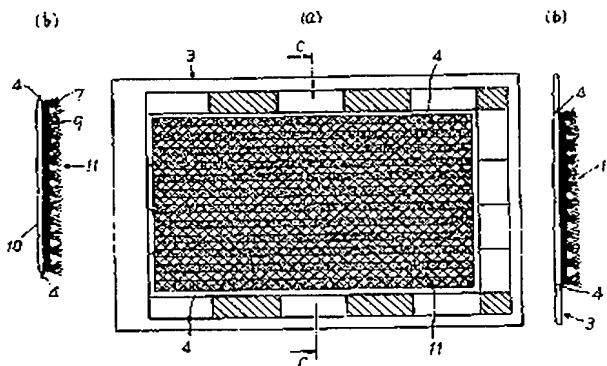
【図14】



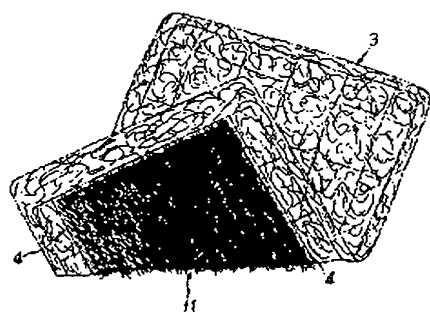
【図8】



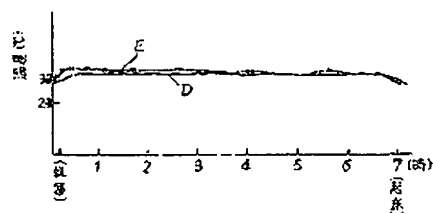
【図9】



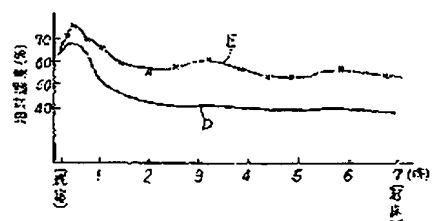
【図10】



【図12】



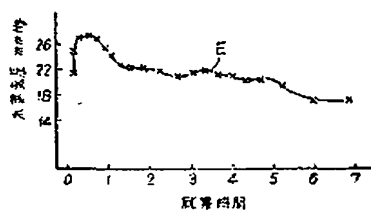
【図13】



(5)

待開平 8-275856

【図15】



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record.**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ **BLACK BORDERS**
- ☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☐ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☐ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- ☒ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☒ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.